

4 人材育成活動

□生涯学習分野

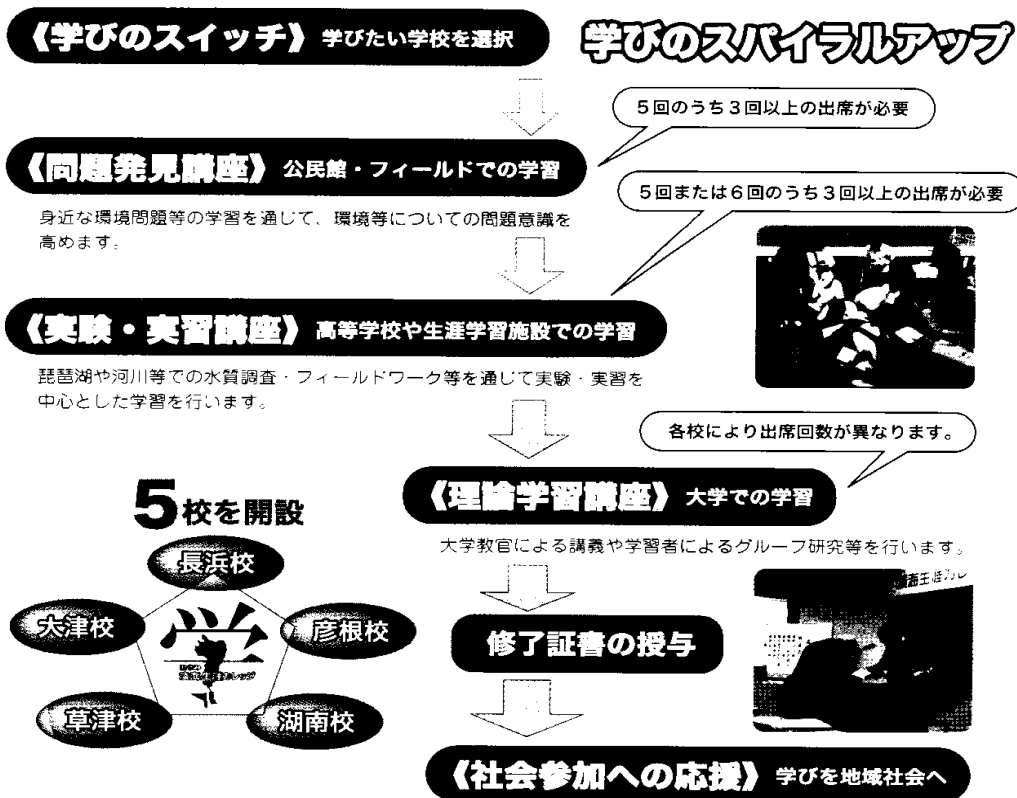
淡海生涯カレッジ

「淡海生涯カレッジ」は、滋賀大学と滋賀県の共同研究の中から生まれた学習機会である。平成8年に滋賀県大津市で開設され、今日まで、大学の知的資源を生かすと同時に、地域の生涯学習機関（公民館、高校、生涯学習センター等）とのネットワークによって、体系的で、深まりのある環境学習の機会を提供してきた。

「淡海生涯カレッジ」では、特色のある3つの講座が開設され、それぞれの講座内容を受講者がバランスよく学ぶことで学習を深めていけるようにしている。3つの講座とは、身近な環境問題を学ぶ中で、環境についての問題意識を高める、公民館での「問題発見講座」、観察や実験を通して、体験的に環境問題に迫る、高校での「実験・実習講座」、そして理論的に環境問題を深める、大学での「理論学習講座」である。

このうち、大学での「理論学習講座」では、大学教員による講義とともに、受講者が自分たちでテーマを決めて研究を行い、講座の最終回にその研究成果を発表する「グループ学習」を行っている。これには、これまでの学習成果を生かしながら、自分たちの力だけでどこまでことができるのかを確認してもらいたい、また、学習のプロセスの中でカレッジ修了後も共に活動を続けていける仲間をみつけてもらいたい、というプログラム企画者の願いが込められている。

○ 淡海生涯カレッジの学習の流れ ○



現在、県下には5校の淡海生涯カレッジが開校されており、滋賀大学はそのうち、「大津校」と「草津校」に関わっている。平成25年度は、平成25年6月15日～平成26年2月1日まで7ヶ月半にわたって講座が開講され、両校の47名の受講者のうち、35名がカレッジの修了証を手にした。彼らが、これからカレッジで学んだ成果を存分に生かして、地域で活躍することを期待したい。

○受講者の感想

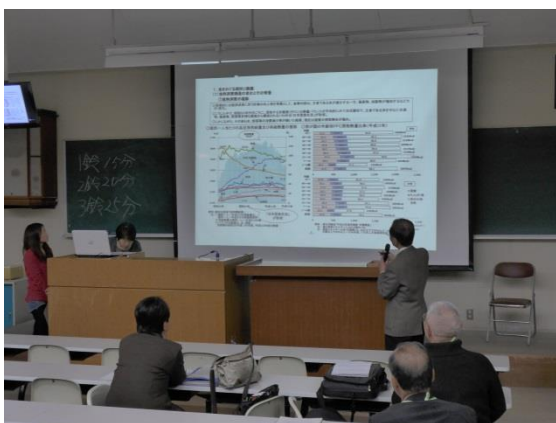
◆自然と文化、暮らしを考える機会となった淡海生涯カレッジを受講できたことに感謝しています。藤尾公民館での問題発見講座、膳所高校での体験的学習、滋賀大学での専門的学習へと、継続的・段階的に学習でき、更に多くの選択講座を受講できるシステムは、本当に素晴らしいものでした。環境学習船で水環境を学習する選択講座を受講しましたが、機会があれば、今回受講できなかった他の選択講座にも参加してみたいと思います。

◆今回の受講で、3回目です。最初は1年で終わるつもりでしたが、受講内容が楽しく、3回も継続してしまいました。特に公民館や高校での講座は、毎回は新しい発見・経験の連続でした。

◆約半年間の講座は「この酷暑は辛い、通学時間の割に一講座だけではもったいない」と思っているうちに寒くなりはや終講です。若い頃には縁のなかった膳所高校や滋賀大にフリーパスで簡単に入れてもらい現実離れした時間のよう気がします。講義の後の実験や現地訪問は印象深く残っています。

◆今回、はじめて受講させていただきました。様々な取り組みをされ、また、理解しやすいように工夫していただいていると感謝しながら楽しく受講できました。印象的な講座は、実験・実習の『膳所周辺の歴史散歩』、『日本建築の特徴について』です。暑い中、解説後、実際に古墳、三井寺等を見て説明していただいたことです。理論学習では、琵琶湖博物館にて実践的な授業をうけさせていただくこともでき、さらに環境問題に取り組みたいと思います。ありがとうございました。

(文責 教授 神部 純一)



【グループ学習発表会風景】